



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



へび えと 巳にまつわる千支セトラ



VOL.270

もくじ

P1 蛇まつり P2 蛇磨岩、美女池、大蛇伝説 P3 蛇あれこれ、へい仔 P4 智禅寺、七福神巡り P5 八王子神社、淡路人形浄瑠璃 P6 お雑煮、じゃのひれで遊ぼう！ P7.8 子育てポケット・淡路文化会館・淡路県民局・淡路くうが協会からのお知らせ P9.10 淡路の文化活動・イベント情報



わっしょい！

藁の大蛇が町内を練り歩き



藁の大蛇と塔婆に読経



今から500年も前の出来事が、「蛇供養(蛇まつり)」として今に伝わっているのが倭文安住寺地区です。その昔、人や牛馬を害し耕作の妨げをしていた大蛇(約30m、太さ一抱え)を領主、船越左衛門尉定氏が矢で退治。しかし、その後、農作物ができないのは大蛇のたたりか？その供養から始まったのが、この祭り(供養)の由来とされています。

500年以上たった令和の今も毎年1月11日に藁で作った大きな蛇をみんなでかつぎ(主に倭文小2年生)町内を練り歩きます。最後に庄屋さんの家の前の木に安置し、お祀りします。(台風によりムクの木が倒れ今は近くの木に掛けます) 藁の大蛇が木に巻きつけられた後、千本塔婆が千本地蔵の前に立てられこの祭りを終えます。

南あわじ市には蛇にまつわる昔話がありますが、どのお話も、何百年、いやそれ以上昔から今に伝わっている事にビックリします。

そして、その心が供養、お祀りとして今も伝わっていることにさらに感動を覚えます。さすが「国生み神話の淡路島」です。

(応援隊:村上 紀代美、坂本 厚子、川原 雅代)

参考:「緑町風土記」、「味地草」「あんじゅうマップ」(安住寺農地等保全管理組合)

藁の大蛇が木に巻きつけられます。



千本塔婆が千本地蔵の前に立てられます。



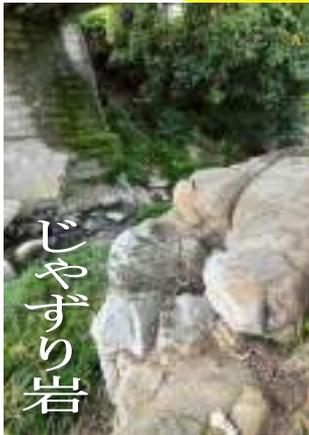


2025年はへび年。へびの抜け殻を財布に入れておくと金運がアップするとか、へびの夢は吉兆だとか、風水でもへびは縁起のよい動物と考えられているのですが、怖いイメージや悪役のイメージが強いのも確か。昔話でもそういった怖い、たたりをもたらすへびの話にも出会います。南あわじにはどんな話が伝わっているのか？今も残る「へびの登場する昔話の地」を訪ねて見ました。

八木馬回

蛇磨岩

紅葉が美しいことで有名な「成相寺」に伝わる「蛇磨岩（じゃずりいわ）」のお話です。



じゃずり岩

むかしむかし、成相寺の前を流れる川の中に大きな岩があり、大雨が降ると川が溢れて田畑や家が水びたしになり、辺りの人は困り果てていました。

それを見かねたえらいお坊様が、難儀を取り払うために願をかけて祈り続けますと、どこからか美しい女の人が見え、夜に大蛇に化身して、大きな岩の上を這いずりまわりました。

やがて朝になると大きな岩はすっかり砕かれて、水がさらさらと流れていました。人々は、たいそう感謝したということです。



成相寺

美女が大蛇に化けて・・・



大きい岩のせいでまた水害



岩の上を這いずり回り・・・



岩を砕き、水害はなくなったとき

北阿万新田北

美女池

同じような話は北阿万の大日ダムの上流にある「美女池」にも残ります。



©淡路ため池ものがたり



美女池

夏の朝早く、お百姓さんが池のほとりにさしかかると、山から池の面にかけて白い霧が立ち込め、水の中から美しい女の人が見えられました。次の夏には庄屋さんも朝もやが立ち始める池の面に立つ美しい女の人を見たことから、だれ言うもなくこの池のことを美女の出る池「美女池」と呼ぶようになったとか。

法師様によれば「大蛇は川に百年、池に百年、海に百年の修行を積んで天に昇る力を得る。潮崎から来た大蛇が退屈しのぎに人々を驚かせたのだろう」



池から美女があらわれたー！



永年修行を積んで美女に化けてみました。大蛇

「蛇磨岩」、「美女池」どちらも大蛇にまつわる不思議なお話でした。

(応援隊：濱田 泰美)



オートキャンプ場としてにぎわう「じゃのひれ」。昔々入江の外側は1kmの砂州が連なり大蛇が横たわっているように見えたのが「じゃのひれ」という地名の起こりだそうです。

大蛇は、四国阿南の島々や鳴門海峡を泳ぎ回り、疲れた体をこの地で休め、英気を養っていたとか。

大蛇伝説 じゃのひれ～阿万潮崎の蛇穴～美女池

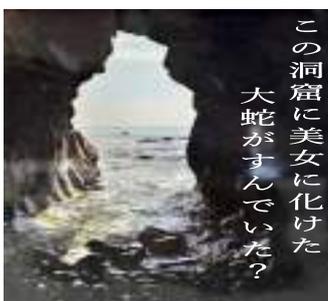


潮崎の蛇穴を目指して、じゃのひれから海沿いに南の方に進む



阿万 潮崎の蛇穴

じゃあな



この洞窟に美女に化けた大蛇がすんでいた？

蛇穴は美女池の底につながっていた



美女池に伝わる美女伝説の源



女性の横顔のような岩肌

大蛇は海を渡って四国の伊島にもあらわれ、人や家畜を襲っていた。ある朝寺の小僧さんが井戸へ水をくみにいったまま帰ってこない。次の朝別の人がいったがその人も帰ってこない。

そこで和尚さんは朝早く自分でその井戸へ行き、海上を眺めていると、はるか淡路島の方から大蛇がこちらへ泳いでいたのが見えた。

和尚さんは人形をつくり、その中に火薬を仕掛けて置いたところ、大蛇は、生きた人間だと思いひと飲み飲み込むと同時に、ドカンと大きな音がかして、全身火だるまになって死んだということです。

潮崎の蛇穴は、船で行って海側からしか確認できないそうです。

(応援隊：坂本 厚子)



巳年にちなんで 蛇あれこれ

2025年の干支は巳。ヘビ年です。ヘビは怖いというイメージを持つ方も多いかもしれませんが、調べてみると意外といいことに使われていることが判明。そこで、ヘビにまつわる言い伝えなどを集めてみました。(応援隊：瀬戸 由美子)



十二支の蛇

12種類の動物からなる十二支ですが、それぞれの動物に幸せを願う意味が込められています。脱皮するヘビのイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子がではじめる時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ年」とも言われるようです。

縁起物



蛇の皮
財布に入れて
お金持ち

蛇はお金に縁の深い生き物とされ、多産で豊穡をあらわすと言われています。それに、執念深いためお金が出ていかない。そういえば、「蛇の皮を財布に入れておくとお金が貯まるよ！」って聞いたことがあるような？

干支にまつわる株式相場格言

お金に困らない干支ランキング常に上位



「辰巳(タツミ)天井、午(ウマ)尻下がり、未(ヒツジ)辛抱、申酉(サルトリ)騒ぎ、戌(イヌ)笑い、亥(イ)固まる。子(ネ)は繁盛、丑(ウシ)つまずき、寅(トラ)千里を走り、卯(ウサギ)跳ねる」

救急医療のシンボルマーク スターオブライフ



救急車のヘビと杖が描かれた青いマークは「スターオブライフ」といい、世界中で救急医療のシンボルマークになっています。また、この杖のことを「アスクレピオスの杖」と呼びます。ギリシャ神話に登場するアスクレピオスという医学の神が、いつもヘビが巻きついた杖を持っていたことから、その杖が医学の象徴に。現在は世界保健機構(WHO)でも採用され、ヘビと杖は国際的に共通のものになりました。スターオブライフの6本の柱には、覚知・通報・出場・現場手当・搬送中手当・医療機関への引き渡しという意味があります。

白蛇と弁財天



日本では白蛇が特に縁起の良い生き物として知られ、白蛇は芸事や学問、蓄財などの神様とされる弁財天の使いと言われています。そこで、弁財天が祀られる神社では白蛇が住んでいるとされ、その神社に参拝すると財運が上がるとされています。※山口県岩国市では、白ヘビの保護活動をしており、「岩国シロヘビの館」という施設があるようです。

蛇のつく言葉

蛇口、蛇の目、蛇皮線(弦楽器)、蛇行、蛇足、蛇腹、長蛇、蛇蝎(だかつ※へびさそり)



蛇の道は蛇(その道のものは、その間の事情によく通じている)
竜頭蛇尾(最初は勢いがよいが、終わりには衰えてふるわないこと)

蛇のつく植物

ヘビノネゴザ(メシダ科)、ジャヤナギ(ヤナギ科)、ウワバミソウ(イラクサ科)、ジャンジン(アブラナ科)、ヘビノネゴザ ジャケツイバラ(マメ科)、カラスウリ(ウリ科) ジャノヒゲ(ユリ科)、ヘビイチゴ(バラ科)

淡路に生息する蛇の種類

ハメは動きが速い



へびは家の守り神

シロマダラ、ヤマカガシ、ニホンマムシ(淡路島ではハメ)、アオダイショウ、シマヘビ、ヒバカリ、ジムグリ



毒ないでー



ヘビイチゴ

まずっ…



ヘビイチゴは小葉が3つで、黄色い5弁花とイチゴ型の果実をつけます。花後は花床が発達して赤いイチゴ型の果実ができます。大きく丸い部分は花床が発達したものです。果実は、その周りについている、ツブツブの部分です。この部分は光沢がなく、しわがよっています。

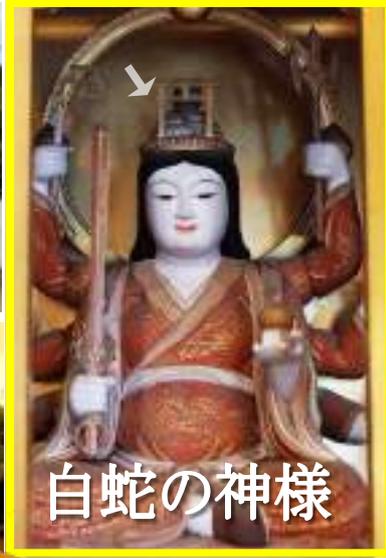
ヘビイチゴのイチゴに毒は有りませんが、花床は海綿状でスカスカしている上に、味が無く、とても美味しいものとはいえません。

ヒメヘビイチゴは山地に生え、葉が薄い感じのするキジムシロの仲間です。オヘビイチゴはあぜ道を黄色く染める、小葉が5つのキジムシロの仲間。どれもバラ科で、ほふく性多年草です。

(応援隊：岡 まさよ)

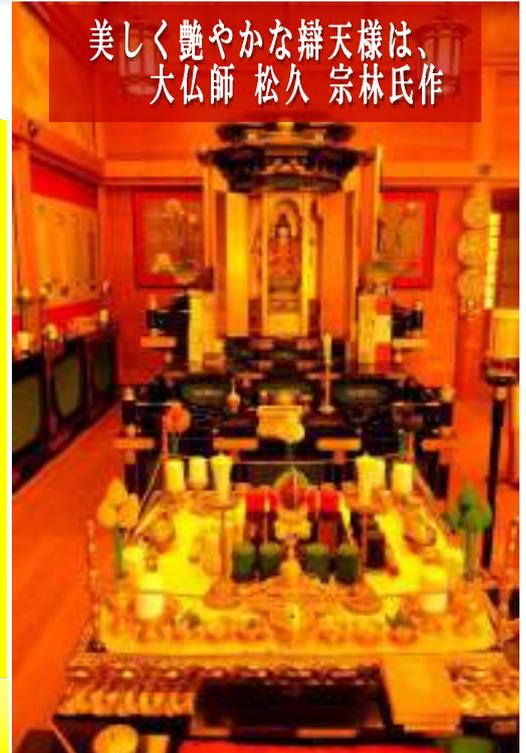
参考：岩槻秀明著者 雑草や野草がよーくわかる本(株)秀和システム発行所

辯天様はインドの神様で、サラスパティー（水を持する者）と呼ばれています。水、川、池の水の神様です。雨は全てを潤し、水は人々に恵みを与えます。水の流れの如き澱みのない弁舌、音楽、学芸、才知と全般にわたる女神として信奉されています。さらに、水の功德から福德財運の神様として信仰されています。



白蛇の神様

はっぴうがじんべんてんさま
八臂宇賀神辯天様



美しく艶やかな辯天様は、
大仏師 松久 宗林氏作

淡路島七福神霊場

大廣山 智禅寺

辯財天

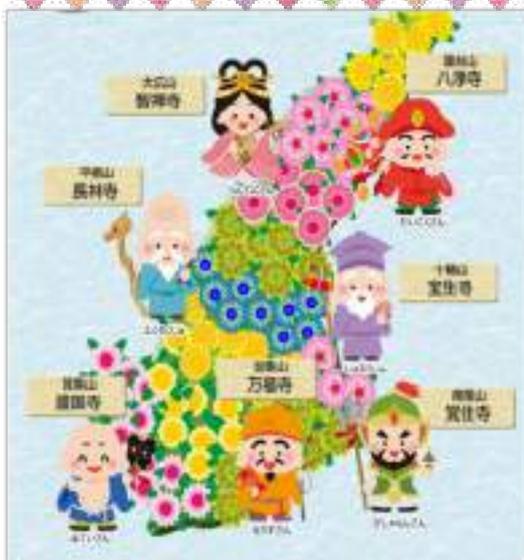
淡路市草香436
TEL 0799-86-1472

智禅寺の辯天様のお姿は八臂宇賀神辯天様（はっぴうがじんべんてんさま）です。八臂とは八つの腕を持ち、宇賀神は白蛇の神様です。八つの腕は才能を表しています。他寺社の辯天様の琵琶を持っているお姿は、水の流れを表しており、水の流れの如き才能を表しているのでしょうか。

宇賀神の蛇が脱皮することからインドでは生まれ変わり・再生などの意味があり、尊ばれています。日本でお財布に蛇の皮を入れるのはお金が有効に使われ、再び戻ってくるようにとの願いがあるのではないのでしょうか。

智禅寺の八臂宇賀神辯天様は昭和の大仏師松久宗林氏の作です。美しく艶やかなお姿は素晴らしいというほかありません。

私は、ポケットあわじの発展と芸事の上達を願い、お祈りしました。毎年1月は1か月で2万人の方が島内外から福参りをされるそうです。他の月でも3000~5000人の参拝があるそうです。今年は巳年。お正月の福参りは八臂宇賀神辯天様のご利益を授かりにお参りしましょう。（応援隊：米田 静子）



淡路島七福神めぐり

大黒天は財福の神様、毘沙門天は勝運・勇気の神様、恵比寿尊は農業・漁業・商業の神様、布袋尊は和合（予宝、良縁）の神様、福祿寿は幸福・財宝・健康の神様、寿老人は長寿の神様、そして弁財天は芸術・学業の神様として信仰されています。



2025年巳年のお正月、家族で淡路島七福神めぐりは、いかがでしょうか。淡路島の七福神巡りは、総距離約70キロなので、1日で七つの福と御朱印がをゲットできます。それぞれのお寺での法話やおみくじも楽しみです。



蛇の神が祀られている

八王子神社



パワースポット!

御神体はさざれ石の大岩

蛇がとぐろを巻いた形に似ています。

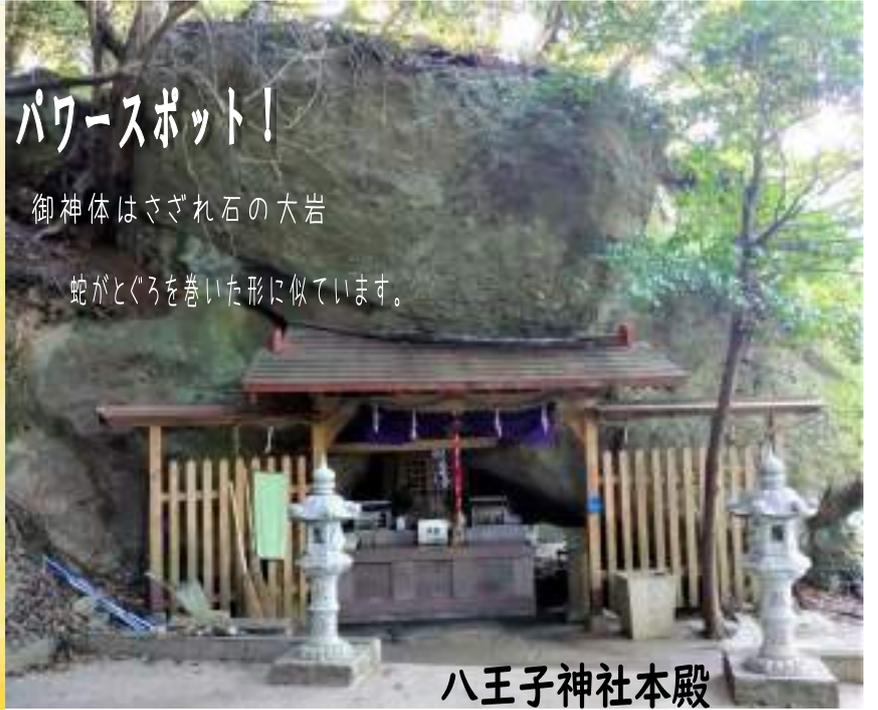


八王子神社鳥居



「みーさん」

巳の祠



八王子神社本殿

新年の初詣、こんなところはいかがでしょう。洲本市街地から見える標高133m三熊山の山上にある洲本城跡の本丸へ登る大石段の手前、右側に進むと大きな石の鳥居があります。その鳥居が八王子神社の入り口です。この八王子神社は洲本城の鬼門にあたり、城郭の鎮守として祀られています。鳥居をくぐると木々に囲まれた下り坂を進むと十二支、それぞれの祠が並んでいます。さらに奥へ進むと山の斜面に、巨大な岩の下に押しつぶされそうな八王子神社があります。この大きな岩は「君が代」の歌詞にもなっている「さざれ石」です。

十二支の祠は手前から子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・・・6番目の祠が今年の干支の巳(み)です。子は伊勢大明神、丑は八幡大菩薩などそれぞれの祠には神様が祀られていて、今年の干支の巳は大物主大神(おおものぬしのかみ)が祀られています。

洲本八幡神社の酒井宮司に伺うと「大物主大神は、日本最古の神社の奈良大神神社の祭神で、大神神社にはその化身である白へびがすむといわれています。八王子神社のご神体、さざれ石の大岩も蛇がとぐろをまいた形に似ていて、八王子神社にも蛇の神が祀られています。蛇は脱皮をして成長していくたくましい生命力など縁起の良い生物だといわれ、蛇のことを親しみを込めて『みーさん』と呼ばれています」と話されていました。

十二支の鳥居や祠はだいぶ傷んでいますが、赤い鳥居と祠が並ぶ様子は見応えがあります。うっそうと茂った木々や独特の雰囲気持った干支の祠、大きなさざれ石の八王子神社はパワースポットでしょうね。

十二支の巳の祠と八王子神社、そして洲本城跡から見る景色など、年始めの天気の良い日にぜひ洲本城跡に登ってみませんか。車でホテルニューアワジ近くのドライブウェイを登るのもいいし、また大浜公園から登山道を歩いて登るのもいいですよ。
(応援隊:田處 吉久)

淡路人形浄瑠璃でも「蛇」が出てくる演目があります。

ひだかがわしっとのうろこ あまだづつみよりわたしげのだん
「日高川嫉妬鱗 天田堤より渡し場の段」

ひだかかわいりあいざくら わたしげのだん
「日高川入相花王 渡し場の段」

迫力満点！ 姫が大蛇に変わります。

1月に公演予定はありませんが、
定期的に公演変更する演目に含まれています。

淡路人形座 TEL 0799-52-0260



ひだかがわいりあいざくら わたしげのだん
日高川入相花王 渡し場の段



突撃！隣のお正月



白みそ×丸餅

淡路島のお雑煮って？ 島民ショー！



すまし×焼いた角餅

お正月に食する料理といえば、お雑煮。お餅をはじめとする具材が入った椀物ですが、実は、地域や家庭によって具材や作り方の違いが大きい料理です。

東日本は角餅、西日本は丸餅を好むと言われています。西日本でも、高知県では角餅がよく使われます。藩主山内氏が、静岡出身で故郷を懐かしみ持ち込んだ風習により広まったとされています。そのほか、香川県では、あん餅を入れる風習があります。それぞれの地方や家庭で先祖伝来脈々と受け継がれてきた風習です。



わが家のお雑煮

大豆のつぶつぶが美味しいお雑煮。大豆をせいろで蒸して作った自家製みそのお雑煮です。トッピングは出汁のイリコがおかしらつきでドーン！！

かしわで出汁とります。

トロトロの丸もち最高

元旦は白みそのお雑煮。まん丸に切った具材と絹ごし豆腐。トッピングは柚子。二日は、おすましに水菜と焼いた丸もち。

お節で使った野菜の切れ端ほりこみます。

元旦は鰹出汁のすましに小松菜。二日めは、おせちの残り物をいれます。

家庭の数だけ、お雑煮の味あり。お母ちゃんのお雑煮が一番！ウチのお雑煮最高



鶏肉のすまし。焼きもち。



すまし汁に焼いた角もち、具材はかぶら、シメジ…

ネギ入れます。

お雑煮にコンニャクいれます。

餅は一人3個以上食べます。

具材は全部丸く切ります。



白みそにトロトロの丸ち。トッピングはかつお節

元旦は淡路のお雑煮。二日は名古屋出身の嫁さんの赤だしお雑煮、三日は東北出身の婿さんのすましになめこ大根おろしトッピングのお雑煮。

お餅は焼くか焼かないか？雑煮の汁は吸い物かみそ派か？出汁はいりこだし？かつお？昆布？

冬野菜である大根、かぶら、にんじん、ごぼう、子芋、などがよく使われています。コンニャクや蓮根を入れる家もあるとか・・・

彩りには軽く炙った糸あおりのりが定番ですが、三つ葉やネギを使う家もあるようです。家庭によっては、かまぼこ、豆腐、鶏肉、魚などが使われています。丸餅に丸く面取りをした冬野菜が具材、島民の9割は白みそ仕立てのお雑煮ですが、淡路島北部で、すまし雑煮の文化があるようです。

淡路島の地元食材を使った温かいお雑煮を食べて一年の初めを美味しく楽しく始めませんか。

(応援隊：竹代 結)

淡路じゃのひれアウトドアリゾートでワクワク体験

大蛇伝説の地”じゃのひれ”で遊ぼう！

南あわじ市阿万塩屋町2660 TEL 0799-52-1487



フィッシング

おススメ① 釣り体験!とても気軽に釣り体験ができます。しかも真鯛が釣れるんです。有料で調理もしてくれるので安心。



ドレイブインアームでイルカを見学

おススメ② イルカ見学! じゃのひれの海で楽しそうに泳ぐイルカたちを見に行こう。(入場料必要) 釣り堀の横で泳ぐイルカたちは、とても自由に楽しそう。



馬とのふれあい

おススメ③ お馬さん!

じゃのひれには、サラブレッドが3頭、ポニーが2頭います。小学生以上は乗馬体験、小さい子は餌やり体験が楽しめます。



食

この季節「食」の楽しみは、牡蠣小屋! 90分牡蠣食べ放題(要予約)に行っちゃおう! 海辺で食べる新鮮な牡蠣は最高ですよ。レストラン太公望さんのパエリアもおススメです。(応援隊：川原 雅代)

子育てポケット



1歳目前の娘は身の回りの色んなことをどんどん更新中。
数歩ずつ歩けるようになってきたので部屋のサークルをなくして広いリビングをヨチヨチ歩き回ったり。

手づかみ食べからmyスプーンを持って自分ですくって食べてみたり。

特に最近のお気に入りはお棚から自分で絵本を選ぶこと。
あれこれ引っ張り出しては好きな本を見つけたら「読んでー！」と渡してくれます。
自分で読むのも好きなようで、ひとりで座ってページを一生懸命めくっては楽しそうにしています。絵本が逆さまだったりするのはご愛嬌(笑)
私も本を読むのが大好きなので、いつか大きくなった娘とおすすめの本を紹介しあえるかも！楽しみがまたひとつ増えました。

(りっちゃんのママ)

「子育てポケット」では、淡路島で育っていく子どもたちの日常を発信して参ります

淡路島にお住まいで子育て中の皆さまからの投稿を大募集！！

「ポケットあわじ」でお子さまの日常や楽しかったことなどを紹介してみませんか??

メールで皆さまからのご応募お待ちしております♪

お気軽にお問い合わせください。



情報投稿先：淡路文化会館 兵藤宛

Mail : info-awabun@farm-group.com

問い合わせ：☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400

〒656-1521 淡路市多賀600



美術展示企画

淡路文化会館からのお知らせ

淡路文化会館HP



池の上に佇む美術展示室と県民ギャラリーでは、1年を通して様々な美術展示企画を開催します。2024年美術展示年間カレンダーは淡路文化会館のホームページをご確認ください。

2025年1月・2月スケジュール

◆十の会展

展示期間:2025/1/5~2025/1/17

展示内容:油絵、アクリル画、テンペラ画、墨、写真、立体など多様な表現技法を駆使した個性派集団の作品40点を展示。

◆令和6年度淡路洋画セミナー修了作品展

展示期間:2025/2/2~2025/2/16

展示内容:淡路洋画セミナー受講生による作品展。セミナーで学んだことを活用し、受講生が思いのままに描く作品を是非ご覧ください。

◆第43回選抜書友展

展示期間:2025/1/19~2025/1/30

展示内容:地域の書道芸術の発展、向上を目的とし、淡路島の在住者、出身者の作品を美術展示室・県民ギャラリーにて展示。

◆令和6年度いざなぎ学園作品展

展示期間:2025/2/20~2025/3/4

展示内容:いざなぎ学園受講生、地域実践演習講座受講生、サークル参加生による作品展。日頃のサークル活動にて制作した作品を一挙に展示します。



写真はR6年6月「野の花作品展」開催時の様子です

淡路県民局県民躍動室からのお知らせ



第47回

淡路くらしのひろば展

～彩り豊かに健やかな生活をめざして～

「身体が心が嬉しくなるウエルネス」

講師:一般社団法人 ウエルネスネットワーク 理事
医学博士 柳本 有二 氏

日時:令和7年2月8日(土) 13:30~15:30

場所:兵庫県立淡路文化会館講堂

入場無料

・兵庫県自治賞、こうのとり賞、くすのき賞、みどりの章の表彰があります。

・申込希望者は下記連絡先までお申込みください。

主催:兵庫県淡路県民局

淡路くらしのひろば展実行委員会

申込・問合せ:兵庫県淡路県民局県民躍動室県民課

〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5

TEL 0799-26-2043 FAX 0799-24-6934



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆2025冬咲きチューリップショーの開幕



淡路島の温暖な気候を活かして、5品種約7000本の冬咲きチューリップを展示。初日のオープニングイベント(①11時~、②13時30分~)ではジャグリングやダンスステージを行います。

期間中、抽選で淡路島の特産品が当たるInstagramラムキャンペーンも開催します。

■期間 2025年1月18日(土)~2月中旬まで

■会場 洲本市民広場

洲本温泉のホテル、旅館

申込・問合わせ先:(一財)淡路島くにうみ協会
電話:0799-24-2001 FAX:0799-25-2521
Eメール:awajishima@kuniumi.or.jp
ホームページ:https://www.kuniumi.or.jp

インフォメーション



◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

1月の展示会のご案内

〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
☎0799-36-2314
☎0799-36-5408

カマン堂ちんげんさいの「珍元パラダイスIN淡路島 THE MOTTAIS」展

9月19日(木)～1月19日(日)
兵庫五国の多様な文化を取り入れた摩訶不思議なキャラクター達。玉青館に出現した「ちんげんさいワールド」をお楽しみください。



・9:00～17:00

(入館は16:30まで)

【料金等】12/3～1/19

大人 300円

高大生 200円

小中生 100円

※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可、入館無料
問合せ：玉青館(0799-36-2314)

◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎0799-74-1200
☎0799-74-1201

10:00～18:00(最終受付17:30)
淡路夢舞台公苑温室「あわじグリーン館」は大規模修繕のため休館いたします。期間＝2024年4月1日～2025年3月(中旬)館内設備の老朽化にともなう修繕工事をおこなうため、ご了承くださいますようお願い申し上げます。再オープンの日が確定しましたらお知らせいたします。

期間:2024年4月1日～2025年3月(中旬)

◆洲本市文化体育館

〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-25-3321 ☎0799-25-3325
休火曜日休館 時9:00～21:00

第73回知事杯 淡路総合バスケットボール大会

淡路バスケットボール協会に登録された小・中・高・一般のチームによる大会

【日時】1/11(土)/18日(土)/19日(日)
試合開始9:30

【場所】メインアリーナ『しおさい館』

【入場料等】無料

【お問い合わせ】淡路バスケットボール協会
☎:090-2108-3781 (欄田)

交流・体験チャレンジ事業 校外作品展

兵庫県立あわじ特別支援学校の生徒が制作した平面、立体の作品展

【日時】18日(土)10:00～18:00
19日(日)10:00～15:00

【場所】会議室1A-3

【お問い合わせ】県立あわじ特別支援学校
☎0799-22-1766

【入場料等】無料

令和6年度児童・生徒の交通安全ポスターコンクール 入賞作品展

兵庫県交通安全協会主催の「令和6年度児童・生徒の交通安全ポスター」入賞作品全点の展示

【日時】1月24日(水)～2月6日(木)

【場所】エントランス

【入場料等】無料

【お問い合わせ】洲本市交通安全協会
☎0799-22-1578 (一財兵庫県交通安全協会)
☎078-351-7860

『市橋淳子 絵画展』 Ichihashi Junko exhibition

画家 市橋淳子氏による個展
いつも猫達を描いています。彼らへの想い、絆、命や存在感、それらを表現できたらと、日々描き続けています。あなたにも感じてほしい。是非、観にいらして下さい。

【日時】1月31日(金)13:00-17:00
2月1日(土)12:00-17:00
2月2日(日)12:00-16:00

【場所】会議室1A-3

【入場料等】無料

【お問い合わせ】市橋淳子
☎090-1718-2768

◆淡路人形座公演案内

1月公演案内

初詣は 淡路人形座へ！

2日(木)～13日(月・祝)
10:00～/11:00～/13:00～
14:00～/15:00～

「寿ぎ戎(ことほぎえびす)」

公演後にえびす様からプレゼントがあります。

16日(木)～31日(金)

10:00～/15:00～

「バックステージ」「戎舞」

11:10～/13:30～

「人形解説」

「玉藻前囃子 神泉苑の段」

【料金】

中学生以上800円/小学生500円

幼児無料

【定期公演】

10:00/11:10/13:30/15:00

30名様以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。

15日前までの事前予約が必要です。

【臨時公演】9:00/16:00

【1月の休館日】

1日(水)/8日(水)/14日(火)/15日(水)
22日(水)/29日(水)

【第4回淡路人形座 若手会】 4回目になる今回は師弟共演

日時:1月25日(土)

開場18:00 開演18:30

前売り券:自由席1,000円 販売中

※窓口かお電話でのみ受付

当日券1,500円

※小学生以下無料

未就学児入場可(親子席有り)

サポートクラブ半額

【演目】日高川入相花王 渡し場の段
鬼一法眼三略巻 五条橋の段



【申し込み・お問合せ】

☎656-0501

南あわじ市福良甲1528-1地先

☎0799-52-0260

☎0799-52-3072



インフォメーション

◆淡路市立しづかホール

篠笛教室生徒募集

日本古来の文化、大自然や生活と深く結びついた楽器を奏でて、音を楽しみます。また想像したものを形にし創造していく中で、自身を開放し表現できる力を育みます。ゆっくり基礎から学べます。

【講師】 嶋本かおり

【日時】 1月23日(木)他

18:00-19:30

詳しくはHPをご覧ください

【場所】 リハーサル室

【料金】 ¥1,500 (1回)

※初回体験500円

神楽道-神楽健康教室- 生徒募集

初めての方も大歓迎！柔軟、ツボ押しなどの健康法・すり足などの基本所作・神楽舞実践稽古・古典的作法の指導・講和など。ご興味のある方は是非、体験してみてください。

【講師】 表 博耀(オモテ ヒロアキ)

日本国エンターテイメント観光

大使・創生神楽宗家

【日時】 1月16日(木)

17:30 - 20:00

【場所】 リハーサル室

【対象】 幼児～(年齢制限なし)

【料金】 ¥1,500 (月1回)

(初回体験 ¥500)

【服装】 軽い体操のできる服装でお越し下さい。

◆淡路文化会館

貸館情報

【会議室】

スクリーンやポータブルマイクを設置しており、プロジェクターの貸出も行っています。最大50名での利用が可能！大人数での会議や研修にピッタリの施設です。その他、ワークショップなどでもご利用いただけます。

【利用料】

午前(9:00~12:00) 900円

午後(13:00~17:00) 1,200円

夜 (18:00~21:00) 1,200円



【調理室】

料理教室や調理実習に最適！冷蔵庫や炊飯器など、調理に必要な物がそろっています。調理台も9台あるため、大人数での調理が可能です。

【利用料】

午前(9:00~12:00) 600円

午後(13:00~17:00) 900円

夜 (18:00~21:00) 900円



◆淡路島国営明石海峡公園

恐竜絵本の読み聞かせ

【日時】 1月11(土)・12日(日)

13日(月祝)

①13:20~ ②14:00~

【場所】 ビジター棟2階

【内容】 恐竜絵本の読み聞かせ、みんなで楽しく絵本を読もう！

【参加費】 無料

※別途入園料、駐車料金必要

季節のクラフトあそび冬 お絵かき凧

【日時】 1月2日(土)~6日(月)・11(土)・

12日(日)・13日(月祝)

受付: 10:00~15:00

【場所】 ビジター棟1階

【内容】 凧に好きな絵を描いて、芝生広場で凧あげ体験

【参加費】 参加費: 250円

※別途入園料、駐車料金必要

☎〒656-2306 淡路市夢舞台8-10

☎0799-72-2000 ☎0799-72-2100



編集・だ・よ・り

謹賀新年、私事ですが近年は年賀状じまいの連絡が増えつつあり、活字好きの私には寂しい限りです。日本語(主に漢字)オンパレードの年賀状は楽しみでした。お正月の風習も時代と共に変化しているのですね。

《応援隊 田村 ひろ子》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願います。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行) 淡路生活創造応援隊 淡路文化会館

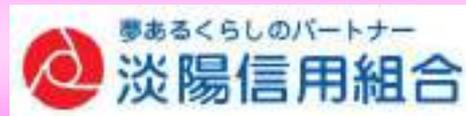
☎656-1521 淡路市多賀600

☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400

E-mail: info-awabun@farm-group.com

H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。



淡路文化会館 美術作品展示 & ポケットあわじ制作

ボランティアスタッフ 大募集!!

淡路島の文化振興や情報発信活動に参加してみませんか？

兵庫県立淡路文化会館では、島民・県民が行う文化行事や生活創造活動の応援をしていただくボランティアスタッフを募集しています。ご興味のある方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

活動 A

美術作品展示 ボランティア

淡路文化会館の美術展示室 及び 県民ギャラリーにおいて、展示者の希望に応じて展示作業の支援を行うなど、年間を通じて美術作品展示の運営をサポートしていただきます。

- 美術作品の搬入（運び込み）補助
- 作家の方との意見交換や交流
- 美術展示や美術鑑賞に関する研修
- 美術作品の展示作業及び展示アドバイス
- 展示会の看板作成

など

- 年間美術展示スケジュールに基づいて作品の搬入や展示作業 約1時間程度
- ※ 時間帯は展示内容により変動
- ※ 各自のご都合に合わせて参加可能

【活動場所】兵庫県立淡路文化会館

- 淡路島内在住で、美術にご興味のある方
- 文化や芸術の振興に貢献したい方



兵庫県立淡路文化会館
WEBページ

活動 B

生活創造しんぶん「ポケットあわじ」制作 淡路生活創造応援隊 ボランティア

淡路島の魅力を紹介する生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の企画、取材、原稿作成、編集、配布などを通じて、地域を元気にする活動にご参加いただけます。

- 地域に密着した情報誌として親しまれている『ポケットあわじ』の制作や発行に関する活動
- ・ 企画（特集やテーマ、取材先の選定）
- ・ 取材活動、撮影、記事作成
- ・ 原稿の編集、確認、校正
- ・ 配布活動

など

- 毎月第3または第4木曜日の編集会議を実施
- ※ 原則として午後2～3時間程度、島内各地在住の応援隊スタッフが集まって、楽しくゆやかに情報や意見を交換する場となっています。
- ※ 取材や記事作成などは各自で活動となります。

【編集会議場所】兵庫県立淡路文化会館

- 淡路島内在住で、地域の情報発信にご興味のある方
- 地域情報誌の制作や編集に関心のある方
- ※ 地域各所へ配布活動のみご参加も歓迎



ポケットあわじの
WEBページ



活動内容

活動日時
／ 場所

募集対象

お問い合わせ / お申込み

兵庫県立淡路文化会館

〒656-1521 兵庫県淡路市多賀 600

TEL. 0799-85-1391 FAX. 0799-85-0400

メール：info-awabun@farm-group.com 担当：兵藤

淡路文化会館
シニアカレッジ

いざなぎ学園の 講座を単発で受講 できるようになりました！

淡路文化会館
公式 WEB



- 事前申込不要・当日受付
- おひとり1回500円（税込）

※講座により受講可否や料金は変動します。

※詳細はホームページまたは電話でお気軽にお問い合わせください。

兵庫県立淡路文化会館



【R7年1月・2月の単発受講可能講座 ※予定】

- ・1月 8日（水）ウクライナ情勢を取材した記者の講演
（関西テレビ 井上氏）
 - ・1月 22日（水）語り部による防災学習（北淡震災記念公園 米山氏）
 - ・1月 29日（水）スキップ楽団の音楽公演（スキップ楽団）
 - ・2月 5日（水）お寺住職によるお話（地蔵寺 住職）
- ※予告なく変更になる場合もあります。あらかじめご了承くださいませ。

兵庫県立淡路文化会館 淡路市多賀 600 TEL：0799-85-1391

各イベント情報は変更になる場合がございます。お問い合わせは各施設へお願いします。